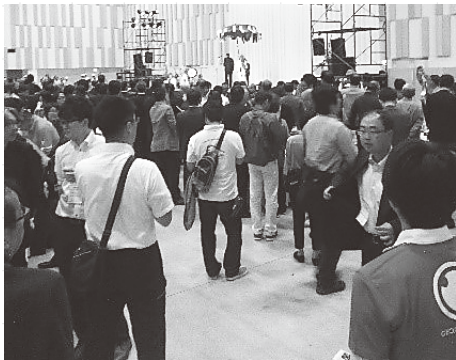


**第8回日本ジオパーク全国大会
男鹿半島・大潟大会 開催！**

10月25日～27日に日本ジオパークの全国大会が男鹿半島・大潟ジオパークを舞台に行われます。全国大会では秋田大学の林信太郎教授による講演や分科会、エクスカーショントアールが行われます。



昨年度の伊豆半島ジオパーク
全国大会の様子

今年には日本ジオパークネットワークが活動を開始して10年目という節目の年にあたり、また東北地方で全国大会を開催するのは今回が初めてとなります。そして、八峰白神ジオパークでは26日～27日の日程でツアー「白神の神秘を巡る！」を実施し、全国から大勢の参加者を迎えます。

能代高校生が白瀑神社を案内

全国大会で実施するツアーでは、十二湖と樺海岸の柱状節理、白瀑神社を案内します。そして、その内の白瀑神社では能代高校の科学部の生徒にガイド役を務めてもらいます。これは科学部の部活動の一環として行うもので、9月18日と22日には当日のガイドに向けて科学部の生徒にガイド講習を行いました。

22日には生徒と実際に白瀑神社を訪れて現地実習を行いました。白瀑の自然や白瀑神社の歴史・お祭りなど、案内する内容は多いですが、生徒たちは熱心にガイドの解説に耳を傾けてメモを取っていました。



白瀑の自然や信仰の
歴史について学ぶ能代高校生

良いガイドをめざして

学習する期間は短いですが、能代高校生にはぜひ良いガイドを行ってもらえればと思います。それでは、良いガイドとはどのようなガイドでしょうか？例として、2015年ジオパーク全国大会ではガイド分科会において「私たちのめざすガイド像」が宣言されています。

- ① 知識だけでなく物語風に伝える
- ② 「その土地ならではの」物語を伝える
- ③ 自分のジオパークだけでなく地球全体を伝える
- ④ 正確な内容を、わかりやすい言葉で伝える
- ⑤ お客様に応じた伝え方をする
- ⑥ 興味を持たせる工夫をしながら伝える
- ⑦ 状況を的確に把握し、安全管理を行う
- ⑧ 常にガイド技術を高める努力を重ねる

どの項目もガイドをするにあたって非常に大切な要素です。次の写真もガイド技術の一つ

を示しています。ガイドは、高校生に直接日光が当たらないように日陰に入ってもらっています。このように、お客様に負担をかけず楽しんでもらう工夫も良いガイドをする上で必要なことです。



逆光で眩しくならないように
する工夫も必要です。

全国大会は3日間という短い時間ですが、東北のジオパーク全体で盛り上げていきたいです。また、高校生の分かりやすくおもしろいガイドも非常に楽しみです！

八峰白神ジオパーク推進協議会

地域おこし協力隊 三輪 拓磨

〒018-2632

秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一

ぶなっこランド内

TEL 0185-77-3086